

# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 構想概要

## 早稲田大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

世界益とともに地球益を追求し、国際舞台で活躍できるコスモポリタン。

### 【構想の概要】

早稲田大学とASEANの主要6大学(マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学)が提携してコンソーシアを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を開設する。

### ■ 交流プログラムの質の保証

#### ・ 学習計画

事前学習→留学→共同ゼミの3つのフェーズを展開し、プレゼンテーションとディスカッションに重点を置き、少人数の環境でインタラクティブな授業を実施する。

#### ・ 組織

①カリキュラム委員会②プログラム委員会③合同教職員会議④外部評価委員会の4つの委員会により運営。

### ■ 交流プログラムの内容

#### 主なカリキュラム

##### ◆ 専門科目:

社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、文明論、都市論、カルチュラル・スタディーズ、比較宗教学、環境論、国際ビジネス、経済学等

##### ◆ 言語科目: 日本語、フィリピン語、インドネシア語、マレー語、タイ語

##### ◆ 共同ゼミ: 多言語、多文化、国際ビジネス、経済学に関するチームティーチングによるゼミ

#### (早稲田大学)



専門分野

言語・文化、国際ビジネス、経済学

#### (ASEANパートナー校)



専門分野

#### 主な取組

##### ◆ 付加価値プログラム

タンデム(早大生と相手大学学生との相互交流活動)  
文化遺産視察、ボランティア、インターンシップ(JAL、三井物産等を予定)

##### ◆ AIMS7学生会議

参加学生による成果発表と討議&ポスターセッション

マレーシア: 言語・文化、国際ビジネス

インドネシア: 言語・文化、国際ビジネス

タイ: 言語・文化、経済学

フィリピン: 国際ビジネス、言語文化、経済学

ブルネイ: 言語・文化、国際ビジネス、経済学

### ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

(注)申請時の計画

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ  
V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

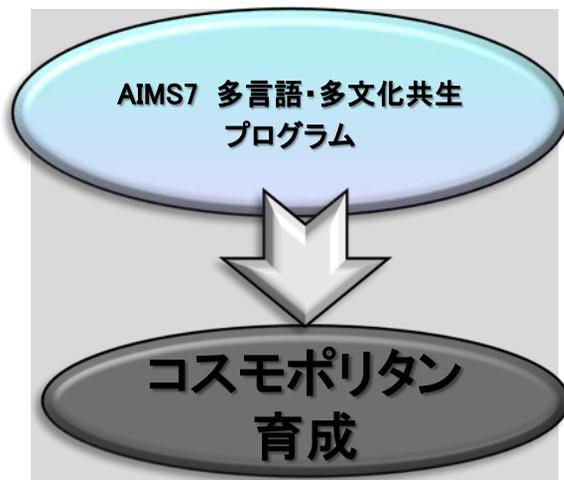
	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	—	—	—	—	—	—	4	4	9	—	4	4	4	4	8	—	5	4	4	4	9	—	4	4	4	4	8	—	4	5
学生の受入	—						—						25						25						25					

### ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備 (受入)

- ・国際教養学部教職員及び助手による留学全般のサポート(英語)
- ・留学センターによる在留資格管理
- ・アカデミックメンターによるアドバイジング
- ・グローバルネットワークセンターによる  
インターンシップサポート・ボランティアセンターによるボランティアサポート
- ・国際コミュニティーセンター及び保健センターによる生活支援。

### (派遣)

- ・国際教養学部教職員及び助手による留学全般のサポート(英語)
- ・留学準備講座による情報提供と意識付け
- ・事前学習によるASEAN地域の理解促進と言語能力の向上
- ・グローバルネットワークセンターによるインターンシップサポート
- ・ライティングセンターによる英文作成指導
- ・シンガポール及びタイの海外拠点を 通じた危機管理サポート。



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

## 早稲田大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

世界益とともに地球益を追求し、国際舞台で活躍できるコスモポリタン。

### 【構想の概要】

早稲田大学とASEANの主要6大学(マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学)が提携してコンソーシアを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を開設する。

## ■ 交流プログラムの質の保証

### ・ 学習計画

事前学習→留学→共同ゼミの3つのフェーズを展開し、少人数の環境でインタラクティブな授業を実施する。

### ・ 組織

①カリキュラム委員会②プログラム委員会③合同教職員会議④外部評価委員会の4つの委員会により運営。

## ■ 交流プログラムの内容

### 主なカリキュラム

#### ◆ 専門科目

社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、文明論、都市論、カルチュラル・スタディーズ、比較宗教学、環境論、国際ビジネス、経済学等

#### ◆ 言語科目

日本語、フィリピン語、インドネシア語、マレー語、タイ語

#### ◆ 共同ゼミ

多言語、多文化、国際ビジネス、経済学に関するチームティーチングによるゼミ

### (早稲田大学)



専門分野

言語・文化、国際ビジネス、経済学

### (ASEANパートナー校)



専門分野

マレーシア: 言語・文化、国際ビジネス  
 インドネシア: 言語・文化、国際ビジネス  
 タイ: 言語・文化、経済学  
 フィリピン: 国際ビジネス、言語文化、経済学  
 ブルネイ: 言語・文化、国際ビジネス、経済学

### 主な取組

#### ◆ 付加価値プログラム

タンデム(早大生と相手大学学生との相互交流活動)  
 フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア

#### ◆ AIMS7学生会議

参加学生による成果発表と討議&ポスターセッション

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H25は実績、H26以降は申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	4	4	9	—	4	4	4	4	8	—	5	4	4	4	9	—	4	4	4	4	8	—	4	5
学生の受入	0						—						25						25						25					

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備 (受入)

・国際教養学部教職員及び助手による留学全般のサポート(英語)・留学センターによる在留資格管理・アカデミックメンターによるアドバイジング・グローバルネットワークセンターによるインターンシップサポート・ボランティアセンターによるボランティアサポート・国際コミュニティーセンター及び保健センターによる生活支援。

## (派遣)

・国際教養学部教職員及び助手による留学全般のサポート(英語)・留学準備講座による情報提供と意識付け・事前学習によるASEAN地域の理解促進と言語能力の向上・グローバルネットワークセンターによるインターンシップサポート・ライティングセンターによる英文作成指導・シンガポール及びタイの海外拠点を通じた危機管理サポート。



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要

## 早稲田大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

### AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

世界益とともに地球益を追求し、国際舞台で活躍できるコスモポリタン(グローバルな視点を持って、「Global」「Regional」「National」「Local」のどの場においても課題解決に貢献できる人材)。

【構想の概要】

早稲田大学とASEANのコア・パートナー6大学(マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学)とアソシエート・パートナー2大学(ビーナス大学、ウタラ・マレーシア大学)が提携してコンソーシアムを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を開設する。

### ■ 交流プログラムの質の保証

- ・コア・パートナー大学と大学間協定のアジェンダ、アソシエート・パートナー大学と箇所間協定を締結
- ・AIMS学習分野に関連する専門科目の提供を設置主体である国際教養学部以外の他学部へも依頼し、カリキュラムを整備
- ・新たにマレー語を設置し、休講していたフィリピン語も開講して、タイ語、インドネシア語と併せて全ての現地語科目の設置を完了
- ・パンフレット、PRビデオ、HPの作成、ショートプログラムの実施など、広報・啓発活動の充実
- ・派遣学生の留学中に教職員がパートナー校を訪問し、現地のサポート体制や学生の生活を視察
- ・大学全体でAUNへの加入手続きを行い、派遣学生の単位認定システムとして、AIMS修了証の単位認定にACTSを活用
- ・合同教職員会議と派遣学生による帰国報告会を開催し、学生の英語・現地語能力の向上、学習成果を確認
- ・付加価値プログラム(インターンシップ・ボランティア・フィールドワーク)の開拓
- ・これまでの事業の検証と今後の検討のための外部評価委員会の設置(平成27年度より実施予定)

### ■ 交流プログラムの内容

	春学期	秋学期	春学期	AIMS7学生会議
早稲田大学 	事前学習@早稲田 専門科目 現地語科目	留学@ASEAN 専門科目 現地語科目	共同ゼミ@早稲田	ASEANのいずれかのパートナー大学にて、プログラムの集大成として学生会議を行う。
パートナー大学  ◆コア・パートナー  ◆アソシエート・パートナー 	↓ 事前学習 @ASEAN	↑ 留学・共同ゼミ @早稲田		
<p>～付加価値プログラムとしてのインターンシップ・ボランティア・フィールドワーク～</p> <p>HP制作会社でのインターンシップ(マレーシア)、日本語クラスでのTA(マレーシア)、学生会議での学生スタッフ(インドネシア)、孤児施設でのボランティア(フィリピン)、オンキャンパスのボランティア(ブルネイ)、現地日本大使館の訪問と大使との面会(ブルネイ)、AIMS学生と早稲田大学国際コミュニティセンターによるASEAN文化紹介イベントの実施、帰国学生によるサークルの立ち上げ、早稲田大学本庄高等学院の生徒と英語による交流活動、農家での農業体験、共同ゼミ毎のフィールドワーク(模擬国連、学生会議、歴史的産業施設の見学)。平成27年度からは金融機関でのワークショップを実施予定。</p>				
<p><b>学習分野:</b> 社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、カルチュラル・スタディーズ、文明論、比較宗教学、都市論、環境論、国際ビジネス、経済学</p> <p><b>現地語:</b> 派遣学生はインドネシア語、タイ語、マレー語、フィリピン語より選択して履修。受入学生は日本語が必修。</p> <p>※合計で32単位を修得した派遣学生にはAIMS修了証、受入学生にはAIMS参加証を授与</p>				

### ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H26までは実績、H27以降は計画

	H25					H26					H27					H28					H29				
	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	8	3	6	3	5	5	5	8	3	4	5	5	9	2	4	5	5	8	2	5
学生の受入	0					10					25					25					25				

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

### ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

**(受入)** 平成26年度秋学期に特別受入を実施、イスラム教に配慮した宿舍の手配や学内での祈祷場所の確保、指定寄付金を財源とした奨学金の設立、Welcome Partyをはじめとする交流イベント、各種オリエンテーションの実施、ビザサポートと在留資格の管理、区役所での住民登録等手続きの引率、短期ホームステイプログラムの実施

**(派遣)** 学内の留学フェアにて説明会・ブースでの個別相談、出発前の国別オリエンテーション、Welcome back partyなどの交流会、24時間体制の海外旅行保険サポート、海外用携帯電話の配付、シンガポール及びタイの海外拠点を通じた危機管理サポート、留学ポートフォリオを活用した語学力の効果測定と派遣学生の交流

### (共通)

国別のアカデミック・メンターによるアドバイジング、インターンシップ・ボランティア・フィールドワークの開拓、共同ゼミの開始、バディシステムの導入、AIMS7学生会議の開催(平成27年度より)



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H27取組概要

## 早稲田大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

世界益とともに地球益を追求し、国際舞台で活躍できるコスモポリタン(グローバルな視点を持ち、「Global」「Regional」「National」「Local」のどの場においても課題解決に貢献できる人材)。

### 【構想の概要】

早稲田大学とASEANのコア・パートナー大学6校(マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学)とアソシエート・パートナー大学2校(ビーナス大学、ウタラ・マレーシア大学)が提携してコンソーシアムを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を開設する。

### ■ 交流プログラムの質の保証

- ・国際教養学部以外の他学部設置科目を増やし、幅広い科目選択が実現可能に
- ・新たにマレー語を設置し、休講していたフィリピン語を開講し、タイ語、インドネシア語と併せて全ての現地語科目履修が可能に
- ・プログラムに関するインタビュー記事の新聞掲載、留学を終えた派遣学生のインタビュービデオの作成、プログラム参加学生の留学報告書の制作、既存HPの修正、パンナー作成、FacebookやYouTubeを利用した活動報告を行うなど広報活動を強化
- ・大学としてASEAN University Network (AUN) へ準会員として加入し派遣学生の単位認定システムとして、ASEAN Credit Transfer System (ACTS) を活用
- ・合同教職員会議にてパートナー大学の教職員とカリキュラム委員会・人材育成委員会・プログラム委員会を開催
- ・ASEANのパートナー校にて学生会議を開催し、プログラムの集大成として参加学生の研究内容と学習成果を発表
- ・付加価値プログラム(インターンシップ・ボランティア・フィールドワーク)の新規開拓
- ・プログラムの進捗について第三者により評価を受け、向上に向けた課題を検証するため、国内外の有識者を外部評価委員として委嘱し、外部評価委員会を実施
- ・元ASEAN事務局長の講演会を開催し、ASEANと日本の関係性についての講義を受講
- ・プログラム参加学生による留学報告会を開催し、学生の英語および現地語能力の向上、学習成果を確認
- ・AIMS修了証書授与式を実施し、カリキュラムで定められた32単位を取得した学生へ、修了証書を授与
- ・日本で開催されたAIMSレビューミーティングに参加し、AIMSプログラム採択校とプログラムを実施する中での問題点や今後の課題を共有、また国内外の大学とネットワークを構築

### ■ 交流プログラムの内容

	春学期	秋学期	春学期	AIMS7学生会議
早稲田大学	事前学習@早稲田 専門科目 現地語科目	留学@ASEAN 専門科目 現地語科目	専門科目・現地語科目、共同ゼミ@早稲田	ASEANのいずれかのパートナー大学にて、プログラムの集大成として学生会議を行う
パートナー大学 ◆コア・パートナー ◆アソシエート・パートナー	事前学習@ASEAN	留学・共同ゼミ@早稲田		

### ～付加価値プログラムとしてのインターンシップ・ボランティア・フィールドワーク～

染料を輸出入する会社でのインターンシップ(マレーシア)、アプリケーション開発会社でのインターンシップ(インドネシア)、ASEANに関するWebマガジン制作会社でのインターンシップ(タイ)、日経企業進出に際する現地でのマーケティングサポート(タイ)、AIMS学生と早稲田大学国際コミュニティセンターによるASEAN文化紹介イベント、早稲田大学本庄高等学院の生徒と英語による交流学習、農家での農業体験、共同ゼミ毎のフィールドワーク(模擬国連、京都外国語大学との合同合宿、歴史的産業施設の見学)。金融機関でインドネシアでの事業展開に関するワークショップ、新聞社でのワークショップ、外国の文化を紹介するイベントでのゲストスピーカー、短期ホームステイプログラムなどを実施

**学習分野:** 社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、カルチュラル・スタディーズ、文明論、比較宗教学、都市論、環境論、国際ビジネス、経済学

**現地語:** 派遣学生はインドネシア語、タイ語、マレー語、フィリピン語より選択して履修。受入学生は日本語が必修

※合計で32単位を修得した派遣学生にAIMS修了証書授与式でAIMS修了証書、受入学生にはAIMS参加証書を授与

### ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H27までは実績、H28以降は計画

	H25					H26					H27					H28					H29				
	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	8	3	6	3	5	4	5	10	2	4	5	5	9	2	4	5	5	8	2	5
学生の受入	0					4	5	0	0	1	4	6	6	5	11	25					25				

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

### ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

**(受入)** 秋学期特別受入の実施、イスラム教に配慮した宿舎の手配や学内での祈禱場所の確保、指定寄付金を財源とした奨学金の運用開始、Welcome Partyをはじめとする交流イベント、各種オリエンテーションの実施、ビザサポートと在留資格の管理、区役所での住民登録等手続きの引率、短期ホームステイプログラムの実施

### (共通)

国別のアカデミック・メンターによるアドバイジング、インターンシップ・ボランティア・フィールドワークの開拓、共同ゼミの開始、バディシステムの導入、AIMS7学生会議の開催、アジアを対象としたニュースマガジン(冊子・オンライン)の無料購読サービスを提供

**(派遣)** 学内の留学フェアにて説明会・ブースでの個別相談、出発前の国別オリエンテーション、ASEANに関する講演会の実施、Welcome Back Partyなどの交流会、24時間体制の海外旅行保険サポート、海外用携帯電話の配付、シンガポール及びタイの海外拠点を通じた危機管理サポート、AIMSポートフォリオを活用した語学力の効果測定と派遣学生の交流、緊急時の安否確認

# 大学の世界展開力強化事業（AIMSプログラム） H28取組概要

## 早稲田大学

### 【構想の名称】（選定年度25年度・AIMSプログラム）

AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

国際社会で世界益とともに地球益を追求し、異文化の架け橋、課題解決に貢献できる人材 = コスモポリタン

### 【構想の概要】

早稲田大学とコア・パートナー大学6校（マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学）とアソシエート・パートナー大学2校（ビーナス大学、ウタラ・マレーシア大学）が提携してコンソーシアムを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を実施する。

## ■ 交流プログラムの質の保証

### 語学能力の測定（派遣学生）

現地語：関連4言語の現地語能力測定試験を開発

英語：帰国後TOEFL ITP受験を義務化し、留学前後の上達度を測定

### 語学能力の測定（受入学生）

現地語（日本語）：来日後・帰国前の日本語能力測定試験を実施し上達度を測定

### 学生会議・合同教職員会議

2016年9月、コンソーシアムの7大学 学生教職員参加（計67名）の下、デ・ラ・サール大学にて開催

開催テーマ：Understanding “Local” “Regional” and “Global” in East Asia

**ACTS (ASEAN Credit Transfer System)に準拠した単位認定システムの採用**

### AUN (ASEAN University Network) ASEAN+3UNet加盟

2016年10月、ASEAN諸国30大学、中国5大学、韓国3大学が加盟する同ネットワークに正式加盟。ASEAN+3の高等教育を牽引する協議への参画を予定

### 外部評価委員28年度事業評価

平成27年度と同一の評価項目による学外評価委員会による事業評価を実施

## ■ 交流プログラムの内容

	春学期	秋学期	翌年度 春学期	夏期休暇中
派遣学生	<事前学習> 専門科目 & 現地語学習	<留学> 専門科目 & 現地語学習	<事後学習> 専門科目 & 現地語学習 <b>共同ゼミ</b>	<AIMS学生会議> パートナー大学にて ラップアップ
受入学生	—	<事前学習>	<留学> 専門科目 & 現地語学習	

**<学習分野>** 社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、カルチュラル・スタディーズ、文明論、比較宗教学、都市論、環境論、国際ビジネス、経済学

**<現地語学習>** 派遣学生：マレー語 / インドネシア語 / タイ語 / フィリピン語

受入学生：日本語

**<修了証>** 派遣学生：規程カリキュラム32単位修了時にAIMS修了証書授与

受入学生：留学終了時に参加証書授与

### インターンシップ

- ・旅行会社（マレーシア）
- ・法律事務所（タイ）
- ・出版社にて記事の編集（タイ）
- ・人材派遣会社にて営業・記事作成（タイ）



NGOでの活動 2017.1

### ボランティア

- ・貧困層の人々へ食糧配布（マレーシア）
- ・クリーンボランティア（インドネシア）
- ・児童への学習・生活支援（タイ・フィリピン）
- ・住宅建設支援（フィリピン）
- ・チャリティマラソンの開催（ブルネイ）



クリーンボランティア 2016

### フィールドワーク

- ・早稲田大学本庄高等学院の英語クラスの生徒と交流学習
- ・近隣農家での野菜収穫体験
- ・大手金融機関・新聞社にて施設見学と国際ビジネス戦略に関するレクチャー受講



農家での収穫体験 2016.6

### その他

- ・複数の民族を対象にしたインタビュー調査実施
- ・民間の国際交流サークルにてゲストスピーカーとしてマレーシア文化紹介
- ・国内外国際関連イベントへの参加
- ・日本人家庭でのホームステイ



ホームステイ 2016.4

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H28までは実績、H29は計画

	H25					H26					H27					H28					H29				
	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	8	3	6	3	5	4	5	10	2	4	7	7	8	2	3	5	5	8	2	5
学生の受入	0					4	5	0	0	1	4	6	6	5	11	5	7	6	2	10	25				

M：マレーシア I：インドネシア T：タイ P：フィリピン B：ブルネイ

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

派遣学生	受入学生	共通
<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡航前オリエンテーション実施</li> <li>・ASEAN滞在に関する講演会開催</li> <li>・24時間体制の海外旅行保険サポート提供</li> <li>・早稲田大学シンガポール/バンコクオフィスとの危機管理サポート提供</li> <li>・留学中携帯電話の契約（必須）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入オリエンテーション実施</li> <li>・宗教に配慮した宿舍・学内での祈祷場所確保</li> <li>・ビザサポートと在留資格の管理、住民登録サポート提供</li> <li>・ホームステイプログラムの紹介・実施</li> <li>・バディーサポートの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワーク、交流イベントの開催</li> <li>・アカデミック・メンターの配置</li> <li>・インターンシップ、ボランティア紹介</li> <li>・学部図書館AIMS書籍コーナーの設置</li> <li>・AIMS提供科目の増加（平成27年度比22科目増）</li> </ul>

# 大学の世界展開力強化事業（AIMSプログラム） H29取組概要

## 早稲田大学

### 【構想の名称】（選定年度25年度・AIMSプログラム）

AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

国際社会で世界益とともに地球益を追求し、異文化の架け橋、課題解決に貢献できる人材 = コスモポリタン

### 【構想の概要】

早稲田大学とコア・パートナー大学6校（マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学）とアソシエート・パートナー大学2校（ビーナス大学、ウタラ・マレーシア大学）が提携してコンソーシアムを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を実施する。

## ■ 交流プログラムの質の保証

### 語学能力の測定（派遣学生）

現地語：関連4言語の現地語能力測定試験を実施

英語：帰国後TOEFL ITP受験を義務化し、留学前後の上達度を測定

### 語学能力の測定（受入学生）

現地語（日本語）：来日後・帰国前の日本語能力測定試験を実施し上達度を測定

### 学生会議・合同教職員会議

2017年8月、コンソーシアムの7大学

学生教職員参加（学生43名）の下、マラヤ大学にて開催

開催テーマ：Towards A Regional Community in East Asia



## ACTS (ASEAN Credit Transfer System)に準拠した単位認定システムの採用

### 国内AIMS参加大学とのネットワークの強化

国内AIMS参加校との定期的な意見交換

### AIMS Review Meetingの参加

インドネシアで開催されたレビューミーティングに参加

### 外部評価委員事業評価

学外評価委員会による事業全体評価を実施

### 国際シンポジウム開催（早稲田大学）

関係教職員、学生及び本プログラム修了生による後の本プログラムの展望について討論



## ■ 交流プログラムの内容

	春学期	秋学期	共同ゼミ	夏期休暇中
派遣学生	<事前学習> 専門科目 & 現地語学習	<留学> 専門科目 & 現地語学習	<事後学習> 専門科目 & 現地語学習	<AIMS学生会議> パートナー大学にて ラップアップ
受入学生	—	<事前学習>	<留学> 専門科目 & 現地語学習	

<学習分野> 社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、カルチュラル・スタディーズ、文明論、比較宗教学、都市論、環境論、国際ビジネス、経済学

<現地語学習> 派遣学生：マレー語 / インドネシア語 / タイ語 / フィリピン語

受入学生：日本語

<修了証> 派遣学生：規程カリキュラム32単位修了時にAIMS修了証書授与

受入学生：留学終了時に参加証書授与

### インターンシップ/ボランティア/フィールドワーク/異文化交流

- ・観光ガイド（フィリピン）
- ・新聞社（フィリピン）
- ・大学国際交流部署（タイ）
- ・日本語学校での授業（マレーシア）
- ・早稲田大学本庄高等学院の英語クラスの生と交流（日本）
- ・近隣農家での野菜収穫体験（日本）
- ・国内外国際関連イベントへの参加（日本）
- ・日本人家庭でのホームステイ（日本）
- ・アパレル関連会社・新聞社にて施設見学（日本）



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

	H25					H26					H27					H28					H29				
	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	8	3	6	3	5	4	5	10	2	4	7	7	8	2	3	6	4	10	3	3
学生の受入	0					4	5	0	0	1	4	6	6	5	11	5	7	6	2	10	6	5	5	2	8

M：マレーシア I：インドネシア T：タイ P：フィリピン B：ブルネイ

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

派遣学生	受入学生	共通
<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡航前オリエンテーション実施</li> <li>・ASEAN滞在に関する講演会開催</li> <li>・24時間体制の海外旅行保険サポート提供</li> <li>・早稲田大学シンガポール/バンコクオフィスとの危機管理サポート提供</li> <li>・留学中携帯電話の契約（必須）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入オリエンテーション実施</li> <li>・宗教に配慮した宿舍・学内での祈祷場所確保</li> <li>・ビザサポートと在留資格の管理、住民登録サポート提供</li> <li>・ホームステイプログラムの紹介・実施</li> <li>・バディーサポートの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワーク、交流イベントの開催</li> <li>・アカデミック・メンターの配置</li> <li>・インターンシップ、ボランティア紹介</li> <li>・AIMS提供科目の増加（平成28年度比51科目増）</li> </ul>